



2019年

2・3月合併号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

国内初！

フードホールと地産地消を融合！ 「津別フードホール」



(仮称) 津別町まちづくり会社

☆ 国内初の試み

「津別フードホール」が、2月23日、24日の2日間限定で町内の多目的施設「さんさん館」で行われました。

官民が出資し、3月発足予定の「(仮称)津別町まちづくり会社」のイベントとして、町の特産品である「流氷牛」、「つべつ和牛」、「オーガニック牛乳」を原料とした料理やスイーツ、道の駅で販売され徐々に知名度が高まる「クマヤキ」等が提供され、多くの来場者で賑わいました。

フードホールとは、ショッピングモールや大型スーパーにあるフードコートとはやや趣が違い、それぞれが小さなブースを構え、こだわりの食材を使用した本格的な料理店、アルコール類の提供、食料品の販売も行われる「新しい食を楽しむ場所」です。都市圏では認知されつつあるフードホールを全国で初めて地産地消と結びつけ、試験的に開催されたのが、今回の「津別フードホール」です。



【テントのペイントも自分たちで制作】



【The Dining(大江シェフ) from大阪】

☆ 想定外の盛況

主催者によると2日間の来場者数は約2,700人(町外からが7割)、オホーツク管内を中心に、全道から来客があり、気軽に本格的な料理が楽しめるとあって、早々に完売するお店もあるほどでした。

津別町まちづくり会社の統括マネージャー松林尚史さんは、「大々的にPRを行ったわけではなく、来場者の多さに驚いている。人口4,700人の小さな町の魅力を感じてもらえた。町内外の異業種の方々と横のつながりが生まれるきっかけにもなった」と手応えを感じたと同時に、イベント自体の改善点、今後さらに津別町を売り込む企画づくりなど、早くも将来図を描いているようでした。

津別町まちづくり会社

- ・官民が出資し、3月末に設立予定
- ・津別産の食材の販売促進や特産品の開発を通じて、町のPR、移住・定住促進を進める
- ・問い合わせ先:0152-76-2151(津別町役場内)



【大人気のクマヤキ販売コーナー】

各ブースの様子



まる太くん

「アントレ特製プリン」

津別町と30年以上の交流がある船橋市在住、日本屈指のパティシエ高木氏監修。津別産オーガニック牛乳を使った限定品



あのクマヤキがサブレに！

先行限定販売され、ペイントコーナーは、子どもたちに大人気



「手作りパンの店 クレシエ」

流氷牛(津別町のブランド牛)入り揚げたてカレーパン



「町内の特産品販売コーナー」

野菜や農家が自ら加工した品々



「The Dining お酒とチーズ」

津別産生乳を使用した自家製チーズで乾杯



「川瀬牧場GYUGYU-TTOterrace」

ヒレステーキバーガー、牛肉ウィンナー
流氷牛の生産者でもある川瀬牧場直営



2019.2.19
Tue



農観連携ビジネス事例発表会

～オホーツクの魅力を活かした農泊の推進に向けて～

農観連携ビジネス創出推進協議会は、2月19日、網走市民会館において、「農観連携ビジネス事例発表会」を開催しました。

約80名の関係者の参加のもと、第一部では、オホーツク各地の農泊・農林漁業体験の取組成果や課題等の事例発表が行われ、第二部では、ひがし北海道自然美への道DMO野竹専務理事から地域連携の体制づくりの話題提供や助言を受け、オホーツク地域における農泊・農林漁業体験のニーズや将来展望、取組課題、地域の関係者の連携について議論を深めました。

各地に共通した課題は、ガイド等の人材育成、2次・3次交通の確保、プロモーションなどであり、地域の関係者の連携や市町村を越えてオホーツク全体が繋がることが重要であることを共有しました。また、参加者からは農泊・農林漁業体験への取組に期待する声もありました。

オホーツクには魅力的な自然、景観、営みが多くあり、特別に何かをするのではなく、地域住民の普段の暮らしや産業の営みを見ていただく、体験していただくことが感動につながるということが印象的で、オホーツク地域のファンが増えてくれるといいなと感じました。



事例発表者

オホーツク農山漁村活用 体験型ツーリズム推進協議会 (網走市)

道山 マミ 氏

●取組内容

- ・ガイド育成セミナー
- ・郷土料理体験で食の魅力再発見
- ・体験メニュー
網走湖ワカサギ氷下漁見学
網走の歴史探訪
“リアル下町ロケット”農家自慢の
トラクター見学&かんじきで畑を歩こう
etc...



滝上町農泊観光地域づくり協議会 (滝上町)

ジョーダン・フレイジャー 氏

●取組内容

- ・芝ざくら公園が核の観光通年化
- ・英語のブログ情報発信
- ・インバウンド向け体験メニュー
フライフィッシング体験、酪農
収穫体験、渓谷散策
etc...



オホーツクメモリー (網走市)

原口 智江 氏

●取組内容

- ・民泊あばしりの家
- ・ホタテの雑貨制作・販売
- ・Couch Surfingでインバウンド受け入れ
流水ウォーク、知床クルージング、
ツーリング、花火大会、たこ焼きパーティー
etc...



大空町地域雇用創出協議会 (大空町)

佐藤 孝弘 氏

●取組内容

- ・白いおしるご開発
- ・インフルエンサーによる情報発信
- ・体験メニュー
農業体験(有機農業・収穫体験)
稲作体験(田んぼの学校)
シジミ採り、シジミ漁
スノーアクティビティ(雪像、ファットバイク)
etc...



NPO法人 きよさと観光協会 (清里町)

奥山 英明 氏

●取組内容

- ・サイクリングイベント「グランフォンドきよさと」
- ・6次産業化との連携(そば屋、パン屋、
レストラン、ベリー工房、いも焼酎など)
- ・体験メニュー
斜里岳登山、神の子池スノーシュートレッキング
農業体験(いも堀り、枝豆、とうきび収穫他)
じゃがいも焼酎醸造所見学
畑でランチ
江南ダウンヒルサイクリング
etc...



パネルディスカッション

「オホーツク地域における農泊・農林漁業体験 事業の地域連携に向けて」

コーディネーター:

東京農業大学 生物産業学部 自然資源経営学科
教授 黒瀧 秀久 氏

パネラー:

一般社団法人ひがし北海道自然美への道DMO
専務理事 野竹 鉄蔵 氏

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会
株式会社オホーツクテロワールドウ
代表取締役社長 道山 マミ 氏

滝上町農泊観光地域づくり協議会
一般社団法人滝上町観光協会
事務局長 畠山 尊行 氏

NPO法人きよさと観光協会
事務局長 奥山 英明 氏

一般社団法人 ひがし北海道自然美への道DMO (阿寒町)

野竹 鉄蔵 氏

DMOの商品化、市場発信、フードトレイルと
シェアリング、LCCによる奄美大島の動向な
どを話題提供



編集後記

平成も気づけばあと2ヶ月…。自分が生まれた年の元号が変わるのは少し寂しい感覚になります。平成は良い時代だったと振り返れるようにしっかり締めくりたいです。(おおた)